

【たんぼ舎学習会・エントロピー入門】(第4回)

「膨張」を「成長」と勘違いする現代経済学(3章)

13.4.10 槌田 敦

エントロピー増大という困難を避ける方法とは
物質循環により余分のエントを捨てることで、
エント水準を維持し、持続可能な社会となる

【現代は、失業と貧困にあふれている】

貧困は需要から排除、失業は供給から排除
現代経済は需要と供給から外れた人々を作り、
社会の物質循環を壊している

【自由貿易は諸悪の根源】

自由貿易で、売り込みにより儲けると期待
しかし、売り込まれて損をすることを忘れて
自由貿易の結果の廃業と失業、失業の結果の貧困
そして貧困は世界を砂漠化する

【現代社会は「病的肥満」状態】

三つの矢のアベノミックス、まぜこぜ政策への期待
しかし、自由貿易をそのままにして目標達成は無理
社会の物質循環を失い、経済は混乱へ

【思考欠如の現代経済学】

現状は過剰供給状態、物価下落、倒産、失業
原因は海外からの低価格商品の過剰供給
通貨の縮小(デフレ)での物価下落ではない
したがって、金融政策では解決できない

【神の手の透き間】

神の手とは、売り手と買い手に利益(余剰)が生ずる
①ところが、第三者に汚染など不利益、外部不経済
②また、強者は圧倒的力量で弱者を経済活動から排除
③さらに、国債や原発で、子孫への負担の押し付け
現代経済政策は、これらの不当利益について反省なし
不当利益には、不利益の弁済(内部化)が必要

【内部化の方法】

経済行為における加害者と被害者
交渉により生産を適正化して、過剰供給を削減させる
しかし、加害者は内部化交渉に応じない
応ずると費用が必要となり、他の企業との競争に負ける
したがって、自発的内部化は期待できない
そこで、社会による規制が必要

【膨張を成長と勘違いしている】

現在、第三者に損失を与える商取引が野放しに
その結果、外部不経済の内部化は中途半端
そして、過剰生産は放置されている
現代経済学は、この過剰生産を「経済成長」と勘違いし、
規制を緩くして、さらに経済膨張するよう要求する
エント経済学は、外部不経済の内部化を徹底し、
社会エンジンの修復・再生を目指す

【外部不経済を内部化する方法とその困難】

内部化には社会の介入、つまり法律による規制が必要
ところが、強者は法律による規制に反対する
強者の手先、現代経済学者は、外国資本と結託して
TPPを推進し、必要な規制を撤廃せよと迫る
その結果は、庶民は失業と貧困に突き落とされる

【どうすればよいのか】

政権党に騙されていることに気づく必要がある
野党に投票し、政権党議員を落選させることだ
民主党内閣を作って喜んだことが大失敗だった
良い内閣を作ろうと思うな、また裏切られる

【貧困や失業のない豊かな社会へ】

現代は、貧困者と失業者のあふれた不健全社会
売手と買手対等に余剰が残る市場原理へ戻す
最適関税こそ最良の取引税と気づき、
貧困や失業のない豊かな物質循環社会を目指す
エント水準は維持され、豊かな環境が再現できる